

キーボードインライン バーコードリーダー
レーザータイプ
Stream1-DSV

ユーザーズマニュアル

商標について

Microsoft、MS、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

正しく安全に お使い頂くために

弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取り扱い説明書をよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明します。



この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定され、かつ危険発生時の警告の緊急性が高い」内容です。



この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。



この表示の欄は「障害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためにも、次の事柄は必ずお守りください。

警告

分解しない！改造しない！



内部の点検、調整はお買上げの販売店にお任せ下さい。ショートや発熱により感電や火災を起こす恐れがあります。

火の中に投入しない！加熱しない！



絶対にしないでください。発熱、漏液、破裂、発火の原因になります。

レーザーを直視しない！



レーザー被爆障害を招く危険があります。

レーザー光上で虫眼鏡、
望遠鏡等は使わない！



レーザー被爆障害を招く危険があります。



レーザー光

ビームをのぞきこまないこと

最大出力：1.0mW
クラス2 レーザー製品

注意

幼児の手の届く所に置かない！



怪我等の原因になります。

強い衝撃を与えない！



ハンマー等で叩いたり、釘等を打ち込まないで下さい。発火、破裂の原因になります。

濡らさない！



雨や水、コーヒー等の液体で濡らさないで下さい。また濡れた手で操作しないで下さい。ショートや発熱による感電や製品の故障を起こす恐れがあります。特に、シンナー、ベンジン等揮発性の液体は絶対にかけないで下さい。

直射日光・高温・多湿の場所で保管・使用しない！



高温、多湿、直射日光の当たる所、ほこりの多い所での保管・使用は避けて下さい。機器の故障の原因になります。



RF/ID のアンテナ等の近傍では、誤動作する恐れがありますので使用を避けて下さい。

製品保証について

1. 製品をご購入いただきましたら、保証書にお買い上げ日、御社名、御住所などをご記入の上、大切に保管してください。
2. 製品の無償保証期間はご購入日より1ヶ年、最長で出荷日より1年3ヶ月となります。ただし、無償保証期間内でも次のような場合は有償となることがありますので、ご了承ください。
 - (1) 保証書のご提示がないとき
 - (2) 保証書の所定事項に未記入の箇所がある場合
 - (3) マニュアル等に記載された使用方法および注意事項に反する取扱いによる障害
 - (4) 故意または重大な過失による障害
 - (5) 使用環境が所定条件から逸脱したことによる障害
 - (6) 許可無く、改造または他機器の接続、取付けを行ったことによる障害
 - (7) 災害、地震、水害等の天災地変による障害
 - (8) お客様の作成されたソフトウェアおよびシステムによる障害
 - (9) 使用上避けられない消耗による障害・部品交換（消耗品交換）
3. 製品の品質につきましては、十分注意して製造しておりますが、なにかお気づきの点がありましたらご連絡ください。
4. 製品の内容は、修正バージョンアップなどにより、予告なく変更することがあります。

本製品の運用の結果生じた損失については、全てに関する責任を負いかねますのでご了承ください。

表記上の注意



参照事項を表わします。



注意事項を表わします。

目次

製品保証について	v
表記上の注意.....	vi
目次.....	vii
第 1 章 お使いになる前に	1-1
1-1 梱包箱の確認.....	1-2
1-2 各部の名称と役割.....	1-3
1-3 ご注意（必ずお読みください）.....	1-5
第 2 章 動かしましょう	2-1
2-1 接続.....	2-2
2-1-1 接続形態.....	2-2
2-1-2 接続機種に関する注意事項.....	2-5
2-2 形態別設定.....	2-6
2-2-1 デスクトップタイプの設定.....	2-6
2-2-2 ノートブックタイプの設定.....	2-7
2-2-3 初期設定.....	2-9
2-3 基本動作.....	2-10
第 3 章 各種条件の設定	3-1
3-1 設定項目および初期設定.....	3-2
3-1-1 読取りコードと初期設定.....	3-2
3-1-2 読取り設定.....	3-3
3-1-3 通信設定.....	3-3
3-2 設定の詳細.....	3-4
3-2-1 読取りコード.....	3-6
3-2-1-1 読取りコードの設定.....	3-6
3-2-1-2 桁数転送の設定.....	3-8
3-2-1-3 C/D（チェックデジット）計算の設定.....	3-10
3-2-1-4 C/D（チェックデジット）転送の設定.....	3-11
3-2-1-5 スタート/ストップキャラクタ転送の設定.....	3-13
3-2-1-6 プリフィックスの付加の設定.....	3-14
3-2-1-7 サフィックスの付加の設定.....	3-16
3-2-2 読取り設定.....	3-18
3-2-2-1 読取り桁数の設定.....	3-18
3-2-2-2 読取り方式の設定.....	3-19
3-2-2-3 トリガーモード の設定.....	3-20

3-2-2-4	トリガーモード の設定.....	3-21
3-2-2-5	読取り時間の設定	3-22
3-2-2-6	多段読みの設定	3-23
3-2-2-7	ブザー音量の設定	3-24
3-2-2-8	ブザー音の設定	3-25
3-2-3	通信設定	3-26
3-2-3-1	起動時の CAPS 状態の設定	3-26
3-2-3-2	終端コード付加の設定	3-27
3-2-3-3	送信速度の設定	3-29
3-2-3-4	キーボードステータスの監視 / 制御の設定	3-30
3-3	英数字コード表	3-32
第 4 章	仕様	4-1
4-1	外形寸法	4-2
4-1-1	本体	4-2
4-1-2	キーボード I/O ケーブル	4-2
4-2	読取り性能	4-3
4-2-1	読取り深度と分解能	4-3
4-2-2	ピッチ角度.....	4-4
4-2-3	スキュー角度、デッドゾーン	4-4
4-2-4	チルト角度.....	4-5
4-2-5	湾曲	4-5
4-3	光学仕様	4-6
4-4	その他仕様	4-7
第 5 章	EAN-128 読取り設定	5-1
5-1	EAN-128 読取り設定	5-2
5-2	区切り文字の設定	5-4
5-3	出力形式 1 の設定方法	5-6
5-4	その他の設定	5-8
5-5	直接入力コード表	5-9
5-6	出力形式 1 設定用コード	5-23
5-7	EAN-128 サンプルバーコード	5-31
第 6 章	付録	6-1
付録 1	サンプルバーコード	6-2
付録 2	連続読取りモードの設定	6-4
付録 3	レーザー照射方法の設定	6-6
付録 4	定期刊行物コード (雑誌) の読取り	6-7
第 7 章	索引	7-1

第1章 お使いになる前に

1-1 梱包箱の確認

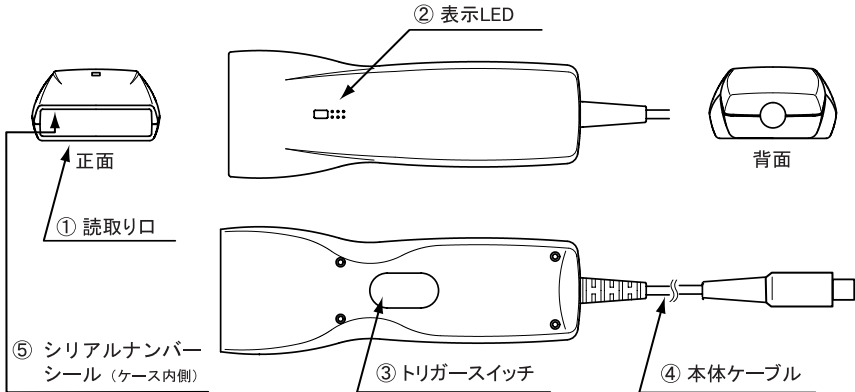
梱包箱の中には本体をはじめとして次の添付品が同梱されています。お使いになる前に必ず本体および添付品をご確認ください。

- 本体（型番：Stream1-DSV）
- キーボード I/O ケーブル（型番：KBIO - SR1）
- ユーザーズマニュアル（本書）
- 保証書

梱包品に不備がありましたら、ご購入販売店もしくは弊社営業部までお問い合わせください。

1-2 各部の名称と役割

本体



読取り口

バーコードを読み込むための読取り口です。

表示 LED

バーコードを読んだときなどに点灯します。

トリガースイッチ

読取りを行う時に押します。

本体ケーブル

通常、デスクトップの場合はキーボード I/O ケーブルの「SCAN」側のコネクタに、ノートブックの場合は、キーボード（テンキー）コネクタに接続します。

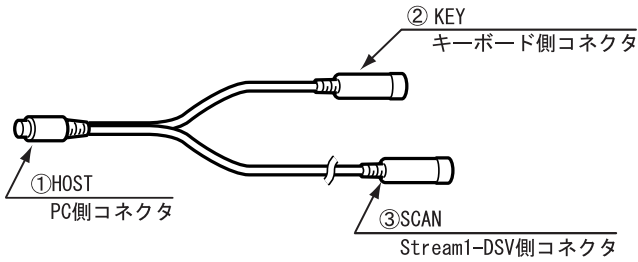
シリアルナンバーシール

製品管理番号です。

製品についてのお問い合わせ時に、このシリアルナンバーをお知らせください。

第1章 お使いになる前に

キーボード I/O ケーブル



HOST

パソコン本体のキーボードコネクタ、またはテンキーコネクタに接続します。

KEY

パソコンのキーボードあるいはテンキーに接続します。

SCAN

Stream1-DSV に接続します。

1-3 ご注意（必ずお読みください）

パソコンの機種により、Stream1-DSV の設定に注意が必要となることがありますので、本項を必ずお読みになってから製品をご使用ください。

東芝ノートブックパソコン「Satellite」シリーズをご使用のお客様へ

「Satellite」シリーズに接続してご使用される際には、以下の注意を守って設定してください。

注意に従わず設定を行った場合、パソコンの再起動後レーザー光が出力されず、使用および再設定が不可能になることがあります。

「2-2 形態別設定」にある「ノートブックタイプ」の設定と「初期設定」のバーコードメニューは決して使用しないで下さい。「第3章 各種条件の設定」や「第5章 EAN-128読取り設定」で変更した設定内容を初期化したい場合は、以下の手順で設定を行って下さい。また、この設定で「Satellite」シリーズへの形態別設定を行いますので「ノートブックタイプ」の設定は決して行わないで下さい。

設定方法

本製品を開梱してから初めて使用される場合は、接続後パソコンの電源を入れた直後に設定を行ってください。また、他のパソコンに接続して使用していた本製品を「Satellite」シリーズで使用される場合は、前のパソコンに接続したままで設定を行い、その後パソコンの電源を切って取り外しを行ってから「Satellite」シリーズに接続してご使用ください（再度同じ設定をする必要はありません）。

パソコンに正しく接続し（「2-1 接続」参照）電源が入っていることを確認してください。

以下の設定用バーコードメニューを上から順番に読み設定を行います。

第1章 お使いになる前に

表 1-1

「Satellite」シリーズ用 形態別設定&初期設定	
設定開始	
	
	
	
	
設定終了	

「第3章 各種条件の設定」や「第5章 EAN-128読取り設定」にあるその他の設定が必要であれば、上記の設定終了後に改めて設定を行って下さい。

第2章 動かしましょう

2-1 接続

Stream1-DSV は、DOS/V 機専用です。また、キーボード用インターフェースを使用しますので USB、RS-232C インターフェースにはつながりません。ご注意ください。お使いになられる前に接続形態をご確認ください。



接続は、パソコンの電源を切った状態で行ってください。

2-1-1 接続形態

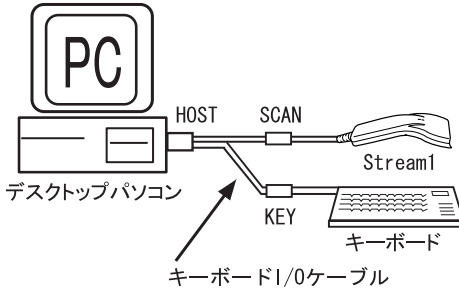
接続形態により設定が異なります。接続形態を確認してから「2-2 形態別設定」に進み設定を行ってください。



ノートパソコンでマウスやテンキーを使用する場合は、以下の設定でも動作しないことがあります。その場合は弊社営業までご相談ください。

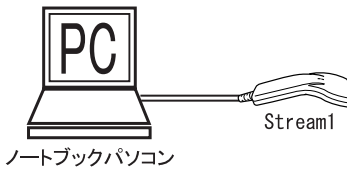
デスクトップパソコンに Stream1-DSV を接続

形態別設定をデスクトップタイプに設定してください。



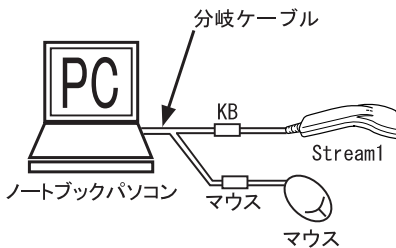
ノートブックパソコンに Stream1-DSV を接続

形態別設定をノートブックタイプに設定してください。



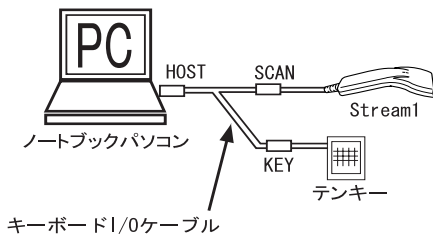
ノートブックパソコンに Stream1-DSV とマウスを接続

形態別設定をノートブックタイプに設定してください。

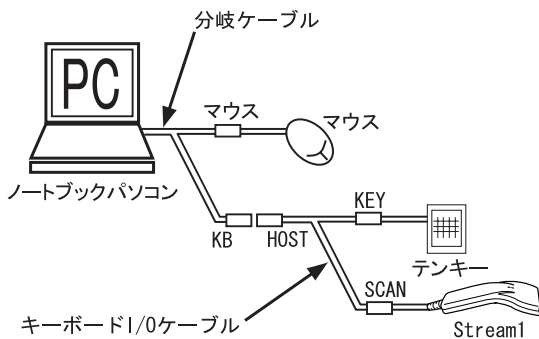


第2章 動かしましょう

ノートブックパソコンに Stream1-DSV とテンキーを接続
形態別設定をデスクトップタイプに設定してください。



ノートブックパソコンに Stream1-DSV とマウスおよびテンキーを接続
形態別設定をデスクトップタイプに設定してください。



分岐ケーブルの詳細については、弊社営業部までお問い合わせください。

2-1-2 接続機種に関する注意事項

本製品が接続可能な PC の機種については、弊社ホームページ (<http://www.welcat.co.jp/>) をご覧下さい。

また、デスクトップ PC に USB キーボードを接続して本製品をご使用になる場合、英大文字 / 小文字の反転が起きることがあります。詳細に関しては弊社営業部までお問い合わせください。

○IBM 製デスクトップ PC 「NetVista シリーズ」に接続する場合の注意

Stream1-DSV を IBM 製デスクトップ PC 「NetVista シリーズ」で USB キーボードと同時に使用される場合、Stream1-DSV の接続が認識されなくなる、またはキーボードの入力ができなくなる等の現象が発生することがあります。その場合、NetVista について以下の設定を行う必要があります。

PC の電源を入れた後、IBM ロゴを表示中に F1 キーを押すと「装置構成ユーティリティ」(BIOS メニュー) が起動します。なお、この設定は Stream1-DSV を接続しないで行ってください。

矢印キーで選択、Enter キーで確定しながら「デバイスと I / O ポート」「USB の設定」「USB キーボード / マウス」とメニューを進めます。

「自動検出」を「しない」に変更します (デフォルトは「自動検出」となっています)。

ESC キーを3回押して最初のメニューに戻ったあと設定を保存します。

設定保存後、自動的に Windows が起動しますので、起動完了後 Stream1-DSV を接続して下さい。

Stream1-DSV の形態別設定はノートブックタイプの設定にして下さい。

2-2 形態別設定

製品を動かす前に「2-1 接続」により接続を確認して、接続形態により必ず「デスクトップタイプ」か「ノートブックタイプ」の設定を行ってください
この設定を行わない場合、正常に動作しません。
出荷時は、デスクトップタイプの設定になっています。

2-2-1 デスクトップタイプの設定

この設定は、「2-1 接続」の形態 および 、 の場合に適用されます。

接続

パソコンの電源を切っておきます。

「2-1 接続」に従い接続してください。

各種コネクタがしっかり接続されていることを確認してください。

設定

パソコン本体の電源を入れます。

以下の設定用バーコードメニューを順番に読みデスクトップタイプの設定を行います。

表 2-1

デスクトップタイプの設定にします	
設定開始	
デスクトップタイプ	
設定終了	



初めて設定する場合、およびデスクトップタイプまたはノートブックタイプの設定を変更する場合は、設定後パソコンの電源を切り一旦 Stream1-DSV を接続しなおして再びパソコンの電源を入れてください。この操作をしない場合、正常に動作しない場合があります。

2-2-2 ノートブックタイプの設定

この設定は、「2-1 接続」の形態 および の場合に適用されます。

接続

パソコンの電源を切っておきます。

「2-1 接続」に従い接続してください。

コネクタがしっかり接続されていることを確認してください。

設定



出荷時はデスクトップタイプの設定になっています。

パソコン本体の電源を入れます。

以下の設定用バーコードメニューを順番に読みノートブックタイプの設定を行います。

第2章 動かしましょう

表 2-2

ノートブックタイプの設定にします	
設定開始	
ノートブックタイプ	
設定終了	



初めて設定する場合、およびデスクトップタイプまたはノートブックタイプの設定を変更する場合は、設定後パソコンの電源を切り一旦 Stream1-DSV を接続しなおして再びパソコンの電源を入れてください。この操作をしない場合、正常に動作しない場合があります。

2-2-3 初期設定

出荷時には、あらかじめ「3-1 設定項目および初期設定」に示される設定になっています。

各種設定を「初期設定」状態に戻したい場合には下の「初期設定」のバーコードを読んで初期状態にしてください。

表 2-3

初期設定状態にします	
設定開始	
初期設定	
設定終了	



上記「初期設定」では「デスクトップタイプ」と「ノートブックタイプ」の設定は変更されません。
 「デスクトップタイプの設定」および「ノートブックタイプの設定」は、別途表2-1及び表2-2の設定表で行ってください。

2-3 基本動作

必ず「2-1 接続」および「2-2 設定」での接続と設定が終了してから次の動作を行ってください。



以下の説明は Windows ご使用時の動作です。その他の OS での動作はお問い合わせください。

パソコンの電源を入れてください。
アプリケーションソフトで「メモ帳」などを開き、文字入力状態にします。
カーソルを「メモ帳」内に置き、バーコードを読取ってください
(バーコードは、巻末のサンプルバーコードをお使いください)。
読込んだバーコードが画面上に表示されれば基本動作の確認は終了です。



キーボードのキーを押しながらの操作は止めてください。
正しく動作しません。また、データが出力されない場合はパソコンの電源を入れなおしてください。

第3章 各種条件の設定

3-1 設定項目および初期設定

Stream1-DSVでは「読取りコード」、「読取り設定」、「通信設定」の分類で設定ができます。設定項目および初期設定は表をご覧ください。

3-1-1 読取りコードと初期設定

表 3-1

コード	読取	桁数 転送	C/D 計算	C/D 転送	スタート/ ストップ	プリフィックス 付加	サフィックス 付加
UPC-A		-	*1		-	無し	無し
UPC-E		-	*1	×	-	無し	無し
JAN/EAN-13		-	*1		-	無し	無し
JAN/EAN-8		-	*1		-	無し	無し
CODE-39	*3	×	×	*2	×	無し	無し
NW-7	*3	×	-	-	×	無し	無し
インターリブ ド2 of 5	*4	×	×	*2	-	無し	無し
CODE-93		×	*1	×*1	-	無し	無し
CODE-128		×	*1	×*1	-	無し	無し
EAN-128	×	-	-	-	-	-	-
定期刊行物コ ード(雑誌) (JAN-13アド オンコード付)	×	-	*1		-	無し	無し

EAN-128の読取り設定については第5章を、定期刊行物コード(雑誌)については第6章の付録4をご覧ください。

上記以外のコード読取りおよび設定についてはご相談ください。

- C/D：チェックデジット
- スタート/ストップ：スタート・ストップキャラクタを付けて転送

* 1：この設定は、変更できません。

* 2：この設定は、「C/D 計算」が“ ”の時のみ有効です。

* 3：1桁は読取りできません。

* 4：2桁は読取りできません。

3-1-2 読取り設定

表 3-2

NO	設定項目	初期設定
1	読取り桁数	桁数設定無し
2	読取り方式	単発読み
3	トリガーモード	読取り時間優先
4	トリガーモード	オートオフモード
5	読取り時間 *5	2秒
6	多段読み	使用しない
7	ブザー音量	音量1(最大)
8	ブザー音	音2

* 5 : 「読取り時間優先」の場合のみ有効。

3-1-3 通信設定

表 3-3

NO	設定項目	初期設定
1	起動時の CAPS 状態	OFF
2	終端コード送信	「ENT」を送信
3	送信速度	速度2
4	キーボードステータス制御	制御する

3-2 設定の詳細

ここでは「3-1 設定項目および初期設定」の各項目の詳細と設定変更の方法を説明します。

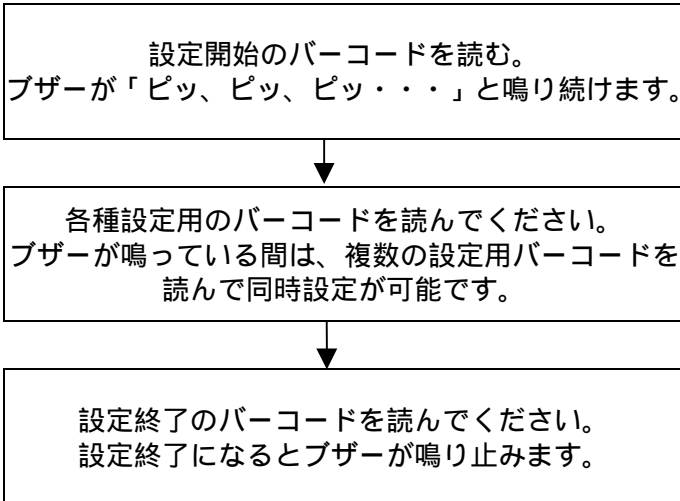
設定項目	項目番号
------	------

読取りコード	
読取りコードの設定	3-2-1-1
桁数転送の設定	3-2-1-2
C/D (チェックデジット) 計算の設定	3-2-1-3
C/D (チェックデジット) 転送の設定	3-2-1-4
スタート/ストップキャラクタ転送の設定	3-2-1-5
プリフィックスの付加の設定	3-2-1-6
サフィックスの付加の設定	3-2-1-7

読取り設定	
読取り桁数の設定	3-2-2-1
読取り方式の設定	3-2-2-2
トリガーマード の設定	3-2-2-3
トリガーマード の設定	3-2-2-4
読取り時間の設定	3-2-2-5
多段読みの設定	3-2-2-6
ブザー音量の設定	3-2-2-7
ブザー音の設定	3-2-2-8

通信設定	
起動時の CAPS 状態の設定	3-2-3-1
終端コード付加の設定	3-2-3-2
送信速度の設定	3-2-3-3
キーボードステータス監視 / 制御の設定	3-2-3-4

この章で示す設定は、いずれも以下の手順で行ってください。



第3章 各種条件の設定

3-2-1 読取りコード

3-2-1-1 読取りコードの設定

表3-4では、設定したコード以外は読めなくなります。複数のコードを設定する場合は、まず表3-4で1種類のみ設定し、残りは表3-5で読みたいコードを追加設定してください。

表 3-4

各コードのみ設定します（設定したコード以外は読めません） 印は初期設定	
設定開始	
UPCのみ読取り	
JAN/EANのみ読取り	
CODE-39のみ読取り	
NW7のみ読取り	
インターリブド2of5のみ読取り	
CODE-93のみ読取り	
CODE-128のみ読取り	
設定終了	

表3-5では、読取りを行いたいコードを追加していきます。

表 3-5

各コードごとに読取り可能にします 印は初期設定	
設定開始	
UPC の読取り可	
JAN/EAN の読取り可	
CODE-39の読取り可	
NW7の読取り可	
インターリブド2of5の読取り可	
CODE-93の読取り可	
CODE-128の読取り可	
設定終了	

例

「CODE-39」と「NW-7」の2種類だけを読取り可能にしたい場合。表3-4で「CODE-39のみ読取り」を設定します。次に表3-5で「NW-7の読取り可」を追加設定します。この様な方法でこの2種類のコードだけ読取り可能に設定できます。

第3章 各種条件の設定

3-2-1-2 桁数転送の設定

表 3-6

各コードごとに桁数を転送する設定にします	
設定開始	
CODE-39桁数転送する	
NW-7桁数転送する	
インターリブド2of5桁数転送する	
CODE-93桁数転送する	
CODE-128桁数転送する	
設定終了	

表 3-7

各コードごとに桁数を転送無しの設定にします 印は初期設定	
設定開始	
CODE-39桁数転送無し	
NW-7桁数転送無し	
インターリブド2of5桁数転送無し	
CODE-93桁数転送無し	
CODE-128桁数転送無し	
全てのコードの桁数転送無し	
設定終了	

第3章 各種条件の設定

3-2-1-3 C/D (チェックデジット) 計算の設定

表 3-8









各コードごとに C/D の計算をしない設定にします 印は初期設定	
設定開始	
CODE-39の C/D 計算しない	
インターリブド2of5の C/D 計算しない	
設定終了	

表 3-9

各コードごとに C/D の計算をする設定にします 印は初期設定	
設定開始	
CODE-39の C/D 計算する	
インターリブド2of5の C/D 計算する	
設定終了	

3-2-1-4 C/D (チェックデジット) 転送の設定

表 3-10

各コードごとに C/D を転送しない設定にします 印は初期設定	
設定開始	
UPC-A の C/D 転送しない	
UPC-E の C/D 転送しない	
JAN/EAN の C/D 転送しない	
CODE-39の C/D 転送しない (C/D 計算する時のみ有効)	
インターリブド2of5の C/D 転送しない (C/D 計算する時のみ有効)	
設定終了	



表3-10での「有効」とは設定変更可能という意味です。

第3章 各種条件の設定

表 3-11

各コードごとに C/D を転送する設定にします 印は初期設定	
設定開始	
UPC-A の C/D 転送する	
UPC-E の C/D 転送する	
JAN/EAN の C/D 転送する	
CODE-39の C/D 転送する (C/D 計算する時のみ有効)	
インターリブド2of5の C/D 転送する (C/D 計算する時のみ有効)	
設定終了	



表3-11での「有効」とは設定変更可能という意味です。

3-2-1-5 スタート/ストップキャラクタ転送の設定

表 3-12

各コードごとにスタート/ストップキャラクタ 転送しない設定にします 印は初期設定	
設定開始	
CODE-39のスタート/ ストップキャラクタを転送しない	
NW-7のスタート/ ストップキャラクタを転送しない	
設定終了	

表 3-13

各コードごとにスタート/ストップキャラクタ 転送する設定にします 印は初期設定	
設定開始	
CODE-39のスタート/ ストップキャラクタを転送する	
NW-7のスタート/ ストップキャラクタを転送する	
設定終了	

NW-7: スタート/ストップ キャラクタ abcd/abcd を転送します。

第3章 各種条件の設定

3-2-1-6 プリフィックスの付加の設定

プリフィックスを付加したいコードを読み、別枠「3-3 英数字コード表」から付加したい英数字データを出力する順番で読み最後に設定終了のバーコードを読んで設定終了です。付加できるプリフィックスは最大4桁です。また、プリフィックスはそれぞれのコードごとに設定できます。

表 3-14

各コードごとにプリフィックスを付加する設定にします 印は初期設定	
設定開始	
UPC-Aのプリフィックス	
UPC-Eのプリフィックス	
JAN/EAN-13のプリフィックス	
JAN/EAN-8のプリフィックス	
CODE-39のプリフィックス	
NW-7のプリフィックス	
インターリブド2of5の プリフィックス	
CODE-93のプリフィックス	






CODE-128のプリフィックス	
設定終了	

表 3-15

すべてのコードのプリフィックスをクリアします。	
設定開始	
プリフィックスをクリア	
設定終了	

第3章 各種条件の設定

3-2-1-7 サフィックスの付加の設定

サフィックスを付加したいコードを読み、別枠「3-3 英数字コード表」から付加したい英数字データを出力する順番で読み最後に設定終了のバーコードを読んで設定終了です。付加できるサフィックスは最大4桁です。
また、サフィックスはそれぞれのコードごとに設定できます。

表 3-16

各コードごとにサフィックスを付加する設定にします 印は初期設定	
設定開始	
UPC-A のサフィックス	
UPC-E のサフィックス	
JAN/EAN-13のサフィックス	
JAN/EAN-8のサフィックス	
CODE-39のサフィックス	
NW-7のサフィックス	
インターリブド2of5の サフィックス	
CODE-93のサフィックス	




CODE-128のサフィックス	
設定終了	

表 3-17

すべてのコードのサフィックスをクリアします。	
設定開始	
サフィックスをクリア	
設定終了	

第3章 各種条件の設定

3-2-2 読取り設定

3-2-2-1 読取り桁数の設定

桁数を設定する方法

表3-18の「桁数を設定する」を読みます。



設定したい桁数のバーコードを読みます。

桁数の設定は、2種類までできます。1種類のみしか設定しない場合は、同じバーコードを2回読んでください。

設定終了を読んで設定が終了します。

桁数の設定は、CODE-39、NW-7、インターリブド2of5全てのコードに適用されます。

表 3-18

読取り桁数を設定します 印は初期設定	
設定開始	
桁数を設定しない	
桁数を設定する	
設定終了	

3-2-2-2 読取り方式の設定

- 単発読み
トリガーを押してバーコードを読むとその時点でレーザーが消灯します。
- 複数読み
レーザー点灯中であれば、続けてバーコードを読むことができます。
“レーザー点灯中”とは、「読取り時間優先」の場合は、設定した読取り時間内。「トリガー優先」の場合は、トリガーを押しつづけている間のことを表わします。ただし、同じバーコードの場合は、レーザーを一旦バーコードから離す必要があります。
-

表 3-19



読取り方式を設定します 印は初期設定	
設定開始	
単発読み	
複数読み	
設定終了	

第3章 各種条件の設定

3-2-2-3 トリガーモード の設定

- 「読取り時間優先」を選択の場合、「3-2-2-5 読取り時間」の設定をしてください。
- トリガー優先
トリガースイッチを押している間はレーザーが点灯しつづけ、スイッチを離すと消灯します。

表 3-20

トリガーモード の設定をします 印は初期設定	
設定開始	
読取り時間優先	
トリガー優先	
設定終了	







「トリガー」優先を設定し、再び「読取り時間優先」に設定を変更する場合は、「3-2-2-5 読取り時間の設定」で読取り時間の設定をやり直してください（「初期設定」に戻す場合はこの作業は不要です）。

3-2-2-4 トリガーモード の設定

本設定は、「3-2-2-3 トリガーモード 」で読取り時間優先に設定されている場合のみ有効。

- オルタネートスイッチモード
トリガースイッチを押す毎にレーザー点灯、消灯を繰り返します。

表 3-21

トリガーモード の設定をします 印は初期設定	
設定開始	
オートオフモード	
オルタネートスイッチモード	
設定終了	

第3章 各種条件の設定

3-2-2-5 読取り時間の設定

この設定は、「3-2-2-4 トリガーモード」で読取り時間優先の設定にされている場合にのみ有効。

ここで設定された時間は、バーコードを読取った時点からの時間です。

例) 2秒に設定されている場合、何も読まないとレーザー点灯から2秒でレーザーが消灯します。また、レーザー点灯中にバーコードを読取るとタイマーがリセットされ、この時点から2秒後にレーザーが消灯します。

表 3-22

読取り時間を設定します 印は初期設定	
設定開始	
1秒	
2秒	
4秒	
6秒	
10秒	
設定終了	

3-2-2-6 多段読みの設定

設定された段数のバーコード読取りを終了した時点でデータを出力します。また、各バーコードの区切りは“,”を出力します。

多段読みは、設定された時間内（「3-2-2-5 読取り時間の設定」で設定した時間あるいは2秒のどちらか小さい方の時間です）に全段の読取りを終了しないと、それまで読込まれたバーコードデータはすべてクリアされます。その場合は、初めからやり直してください。

表 3-23

多段読みを設定します 印は初期設定	
設定開始	
使用しない	
2段	
3段	
4段	
5段	
設定終了	



「EAN128を使用する」に設定し、かつ多段読みの設定を行った場合、強制的に EAN-128読取り限定となります。

第3章 各種条件の設定

3-2-2-7 ブザー音量的設定

表 3-24

ブザー音量を設定します 印は初期設定	
設定開始	
音量1 (大)	
音量2	
音量3	
音量4 (小)	
設定終了	

3-2-2-8 ブザー音の設定

表 3-25

ブザー音を設定します 印は初期設定	
設定開始	
音 1	
音 2	
音 3	
設定終了	

第 3 章 各種条件の設定

3-2-3 通信設定

3-2-3-1 起動時の CAPS 状態の設定

表 3-26

起動時の CAPS 状態の設定 印は初期設定	
設定開始	
CAPS ON	
CAPS OFF	
設定終了	

3-2-3-2 終端コード付加の設定

- 各終端コードごとに付加しない設定を行います。

表 3-27

全コードに各終端コードを付加しない設定にします 印は初期設定		
設定開始		
「ENT」を付加しない		
「TAB」を付加しない		
「 」を 付加しない	デスクトップ PC の場合	
	ノート PC の 場合	
設定終了		

第3章 各種条件の設定

- 各終端コードごとに付加する設定にします。
それぞれ独立して付加します。
各終端コードの付加順は決まっており、全てのコードを付加した場合は、「ENT」、「TAB」、「」の順番で付加されます。

表 3-28

全コードに終端コードを付加する設定にします 印は初期設定	
設定開始	
「ENT」を付加する	
「TAB」を付加する	
「」を 付加する	デスクトップ PC の場合 
	ノート PC の 場合 
設定終了	



ノート PC の「」キーは機種によっては「END」等のキーと共有しているものがあり、入力モードによってはそれらのキーとして出力される場合があります。

3-2-3-3 送信速度の設定

アプリケーションソフトによっては、バーコードを読んだときにデータがかけることがあります。その場合は、送信速度を遅くしてください。

表 3-29

送信速度の設定 印は初期設定	
設定開始	
送信速度1 (速い)	
送信速度2	
送信速度3	
送信速度4 (遅い)	
設定終了	





第3章 各種条件の設定

3-2-3-4 キーボードステータスの監視 / 制御の設定

キーボードステータスとは大文字 / 小文字等のキー入力に対する状態を示すものです。次の設定を変更した場合は、バーコードリーダーを再接続してパソコンを再起動してください。

キーボードステータスを監視し、読み取りデータが大文字のときはキーボードステータスの状態にかかわらず大文字を、読み取りデータが小文字のときは小文字を出力します（出荷時はこの設定になっていますが、デスクトップPCでデータ化け / 欠けが発生した場合、 の設定にしてください）。

表 3-30

キーボードステータスを常に監視して、制御する設定	
設定開始	
制御する	
監視する	
設定終了	

キーボードステータスを監視せず、読み取りデータはキーボードステータスの状態に依存します（ノート PC ではこの設定は使用できません）。

表 3-31

キーボードステータスを常に監視せず、制御しない設定	
設定開始	
制御しない	
監視しない	
設定終了	

3-3 英数字コード表

プリフィックスおよびサフィックスに付加する英数字コードです。

表 3-32 (1)



























英数字コード表	
0	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
A	
B	

表 3-32 (2)

英数字コード表	
C	
D	
E	
F	
G	
H	
I	
J	
K	
L	
M	
N	
O	
P	

第 3 章 各種条件の設定

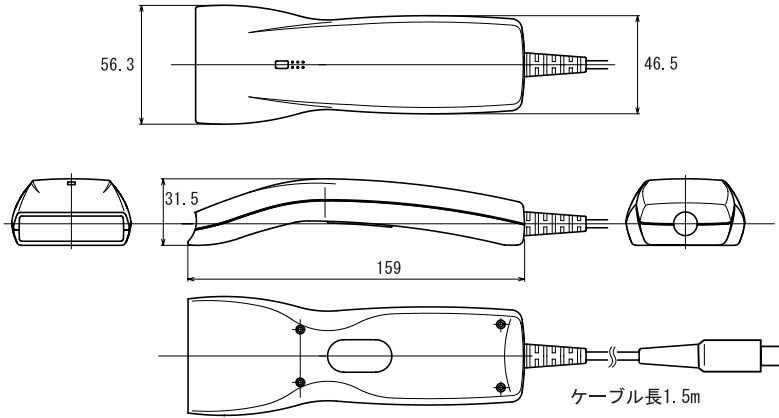
表 3-32 (3)

英数字コード表	
Q	
R	
S	
T	
U	
V	
W	
X	
Y	
Z	

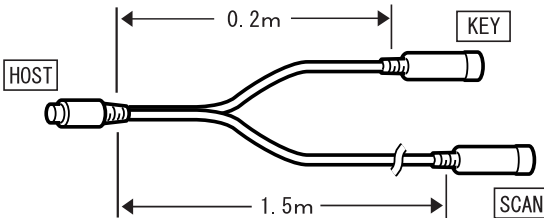
第4章 仕様

4-1 外形寸法

4-1-1 本体

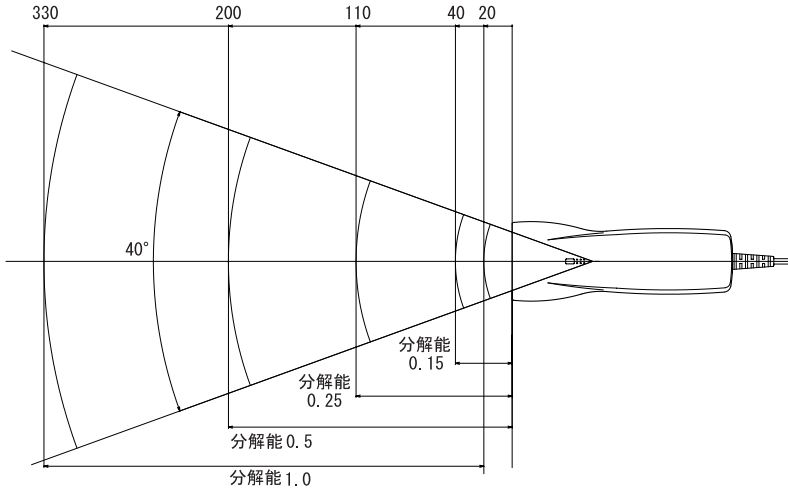


4-1-2 キーボード I/O ケーブル



4-2 読取り性能

4-2-1 読取り深度と分解能

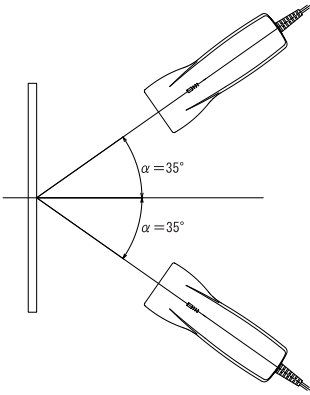


PCS	分解能 (mm)	読取深度 (mm)
0.9	1.0	20 ~ 330
	0.5	0 ~ 200
	0.25	0 ~ 110
	0.15	0 ~ 40

第4章 仕様

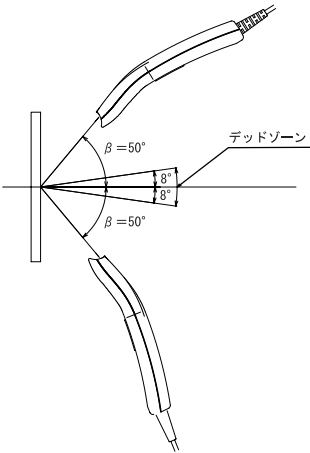
4-2-2 ピッチ角度

± 35° まで読取り可能です。



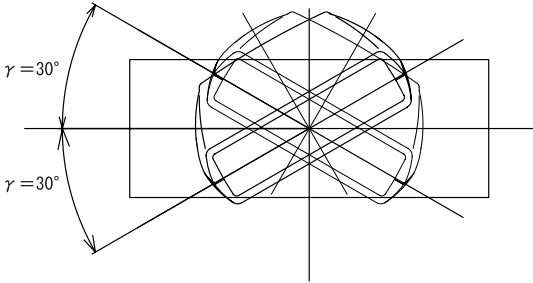
4-2-3 スキュー角度、デッドゾーン

- スキュー角度
= 上下50° まで読取り可能です。ただし、デッドゾーンは除く。
- デッドゾーン
= 上下8° で正反射による読取り困難な領域があります。



4-2-4 チルト角度

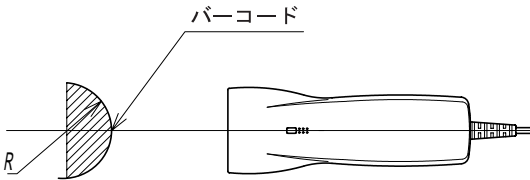
= 時計回り、反時計回り30°まで読取り可能です。



4-2-5 湾曲

JAN8桁の場合 R 15の範囲で読取り可能です。

JAN13桁の場合 R 20の範囲で読取り可能です。



4-3 光学仕様

項目	特性
発光素子	赤色半導体レーザー
発光波長	650 ± 10 nm
光出力	1 mW 以下
スキャン方式	往復振動型
スキャンスピード	100 ± 20 スキャン / 秒

4-4 その他仕様

スキャナー部仕様	読取りコード		JAN/EAN、UPC、NW-7、CODE-39、インターリッド 2of5、CODE-93、CODE-128、EAN-128、定期刊行物コード(雑誌)
	読取り幅		179mm(分解能0.5mm時)
	読取り深度		0~200mm(分解能0.5mm時)
	最小分解能		0.15mm以上
	走査速度		100スキャン/秒
	PCS値		0.45以上
	光源		赤色半導体レーザー (650±10nm)
LED	正常読取り時		緑
	初期化中/エラー		オレンジ
ブザー	バーコード読取り時、設定時に鳴動		
寸法	159mm(D)×56.3mm(W)×31.5mm(H)		
重量	135g(ケーブルを含む)		
ケーブル長	1.5m		
落下衝撃	1.5m(コンクリート)		
防滴	JIS防滴 型準抛		
電氣的仕様	入力電源圧		DC5.0V
	消費電流	読取り時	100mA(MAX)
		準備時	20mA(MAX)
インターフェース		キーボードインターフェース (DOS/V機専用)	
環境	使用周囲照度	白熱灯	3000ルクス
		蛍光灯	3000ルクス
		太陽光	5000ルクス
	使用温度		0~40
使用湿度		20~80%RH(結露無きこと)	
その他	ケース		抗菌処理相当
	付属品		キーボード I/O ケーブル (KBIO-SR1) ケーブル長1.5m

第5章 EAN-128 読取り設定

本章は EAN-128専用です。他のコードの設定などには使用できませんのでご注意ください。


5-1 EAN-128 読取り設定

初期設定では、EAN-128 は使用しないとなっています（EAN-128 は読んでも通常の CODE-128 として出力されます）。

EAN-128 を使用する場合は、出力形式により下の設定メニューコードを読んでください。

「EAN-128 を使用する」

表 5-1

EAN-128を使用するに設定します	
設定開始・終了	
出力形式 1	「5-3 出力形式1の設定方法」参照
出力形式 2	
出力形式 3	

< 出力形式 1 >

読取りデータからユーザーの指定する AI のデータフィールドのみを抽出し指定されたフォーマットで出力します。

AI は最大 10 種類まで指定でき、その AI 毎にヘッダ（最大 2 桁）、ターミネータ（最大 2 桁）を指定できます。

AI の中でデータの小数点位置を記している物があるが（AI 310 等）それについてはデータに小数点を付加して出力します。

「出力形式 1」の設定方法については「5-3 出力形式 1 の設定方法」をご覧ください。

< 出力形式 2 >

読取りデータからデータフィールドのみ抽出して出力します。

< 出力形式 3 >

先頭の FNC1 を "]" C1" に、それ以外の FNC1 を GS (ASCII 1DH) に変換します。

その他のデータ (AI, データフィールド) は通常の CODE-128 と同様に出力します。



出力形式3では EAN-128 のデータ区切り位置を識別しないため、区切り文字等の付加、必要データの抽出等はいえませんが、

EAN-128 ラベルフォーマット

Start Code	FNC1	AI	データ	データ	データ	AI	データ	データ	データ	フィールドセパレータ (FNC1)	...	チェックキャラクタ	Stop
			1	2	n		1	2	n				
			データフィールド (固定長)						データフィールド (可変長)				



「EAN-128 を使用しない」

EAN-128 を使用しない場合は以下のメニューコードを読んでください。初期設定ではこの設定になっています。

表 5-2

EAN-128 を使用しないに設定します	
設定開始・終了	
EAN-128 を使用しない	

5-2 区切り文字の設定

以下のメニューコードを読んだ後に「5-5 直接入力コード表」を読取ることにより 0 桁から 2 桁までの任意のデータを指定することができます。

表 6-3

区切り文字の設定を行います	
設定開始・終了	
データフィールド内のデータとデータの区切り文字を設定	
エレメントストリングとエレメントストリングの区切り文字を設定	
通常 FNC 1 はデータとして出力しないがこれを設定することにより FNC 1 をこの設定文字に置き換えます (2つめ以降の FNC 1 のみ)	

出力形式 1 の設定については、「5-3 出力形式 1 の設定方法」をご覧ください。区切り文字は 2 桁まで設定できるので直接入力コードを続けて 2 回読むと 2 桁の文字が付加されます。

区切り文字の設定を初期化するには、ユーザーズマニュアルの「2-2 初期設定」を実行してください。



初期設定を実行すると「EAN-128は使用しない」になります。



処理の遅いホストの場合、データ欠けが起こる場合があります。
その場合は、以下のディレイを設定してください。

表 5-4

ディレイタイムを設定します 印は初期設定	
設定開始・終了	
区切り文字後送信ディレイ = 0msec	
区切り文字後送信ディレイ = 10msec	
区切り文字後送信ディレイ = 20msec	
区切り文字後送信ディレイ = 30msec	
区切り文字後送信ディレイ = 1倍	
区切り文字後送信ディレイ = 2倍	
区切り文字後送信ディレイ = 3倍	
区切り文字後送信ディレイ = 4倍	

5-3 出力形式 1 の設定方法

表 5-5

出力形式1の設定を行う	
設定開始・終了	
出力形式1の設定	



この時点で現在の出力形式 1 設定はクリアされます。


初めに表5-5の設定開始・終了のメニューコードを読み下の出力形式 1 のメニューコードを読む。

希望する出力順に表5-6メニューコードを読ませます。設定可能 AI 数は最大 10個までで、設定したい回数分 A~C を繰り返し行ってください。

- A: すべての AI に 1 対 1 に対応するメニューコード (/ * * * *) (「5-6 出力形式 1 設定用メニューコード表」参照) を読んでください。
- B: ヘッダの設定を行います。直接入力コードラベルを読んでください。
最小 0 桁から最大 2 桁までのヘッダを設定できます。
桁数毎の必要設定メニューは「表 5-6」の通りです。
- C: ターミネータの設定を行います。直接入力コードラベルを読んでください。
最小 0 桁から最大 2 桁までのヘッダを設定できます。
桁数毎の必要設定メニューは「表 5-6」の通りです。

出力させたい全ての AI とターミネータを設定した時点で「設定開始・終了」のメニューコードを読んで終了させてください。

表 5-6

















設定桁数	内容	設定
0桁	右のバーコードを2回読む	
1桁	任意の直接入力コードラベル1つと右のバーコードを1回読む	
2桁	任意の直接入力コードラベル2つを読む	

桁数設定用メニューコードは、直接入力コードラベル表の各頁上段にもありません。



5-4 その他の設定
















その他の設定	印は初期設定
設定開始・終了	
YYMMDD 中の DD の表示 = YYMMDD をそのまま出力	
YYMMDD 中の DD の表示 = DD=00ならばDDを出力しない	
EAN-128出力形式 1 の時に AI が見つからなければ ヘッダ、ターミネータ、エレメントストリングセパ レータを出力する	
EAN-128出力形式 1 の時に AI が見つからなければ ヘッダ、ターミネータ、エレメントストリングセパ レータを出力しない	
プレデファインドレンジス AI 以外のデータフィー ルドが固定長のエレメントストリング (例 AI 8005) を可変長として扱う	
プレデファインドレンジス AI 以外のデータフィー ルドが固定長のエレメントストリング(例 AI 8005)を固 定長として扱う。また、その AI 直後のフィールドセ パレータは出力しない	
CODE-128から EAN-128への変換ができない時、 何も出力しない	
CODE-128から EAN-128への変換ができない時、 CODE-128として出力する	



5-5 直接入力コード表
















設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
Ctrl + A	
Ctrl + B	
Ctrl + C	
Ctrl + D	
Ctrl + E	
Ctrl + F	
Ctrl + G	
Ctrl + H	
Ctrl + I	
Ctrl + J	
Ctrl + K	
Ctrl + L	
Ctrl + M	
Ctrl + N	

第 5 章 EAN-128 読取り設定



設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
















キャラクタ	メニューバーコード
Ctrl + O	
Ctrl + P	
Ctrl + Q	
Ctrl + R	
Ctrl + S	
Ctrl + T	
Ctrl + U	
Ctrl + V	
Ctrl + W	
Ctrl + X	
Ctrl + Y	
Ctrl + Z	
Ctrl + [
Ctrl + ¥	
Ctrl +]	



設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
















キャラクタ	メニューバーコード
Ctrl + ^	
Ctrl + _	
" "	
" ! "	
" " "	
" # "	
" \$ "	
" % "	
" & "	
" ' "	
" ("	
") "	
" * "	
" + "	
" , "	

第 5 章 EAN-128 読取り設定



設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
















キャラクタ	メニューバーコード
" _ "	
" . "	
" / "	
" 0 "	
" 1 "	
" 2 "	
" 3 "	
" 4 "	
" 5 "	
" 6 "	
" 7 "	
" 8 "	
" 9 "	
" : "	
" ; "	



設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	

キャラクタ	メニューバーコード
" < "	
" = "	
" > "	
" ? "	
" @ "	
" A "	
" B "	
" C "	
" D "	
" E "	
" F "	
" G "	
" H "	
" I "	
" J "	

第 5 章 EAN-128 読取り設定



設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
















キャラクタ	メニューバーコード
" K "	
" L "	
" M "	
" N "	
" O "	
" P "	
" Q "	
" R "	
" S "	
" T "	
" U "	
" V "	
" W "	
" X "	
" Y "	


















設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	

キャラクタ	メニューバーコード
" Z "	
" ["	
" ¥ "	
"] "	
" ^ "	
" _ "	
" ` "	
" a "	
" b "	
" c "	
" d "	
" e "	
" f "	
" g "	
" h "	



第 5 章 EAN-128 読取り設定
















設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	


















キャラクタ	メニューバーコード
" i "	
" j "	
" k "	
" l "	
" m "	
" n "	
" o "	
" p "	
" q "	
" r "	
" s "	
" t "	
" u "	
" v "	
" w "	

設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
" x "	
" y "	
" z "	
" { "	
" "	
" } "	
" ~ "	
F1	
F2	
F3	
F4	
F5	
F6	
F7	
F8	



第 5 章 EAN-128 読取り設定
















設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	


















キャラクタ	メニューバーコード
F9	
F10	
F11	
F12	
Esc	
Tab	
Enter	
BackSpace	
(Right Arrow)	
(Left Arrow)	
(Up Arrow)	
(Down Arrow)	
Right Ctrl (実行)	
Keypad Enter	
Keypad 1	

設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
Keypad 2	
Keypad 3	
Keypad 4	
Keypad 5	
Keypad 6	
Keypad 7	
Keypad 8	
Keypad 9	
Keypad /	
Keypad *	
Keypad -	
Keypad +	
Keypad 0	
Keypad .	
Alt + @	

第 5 章 EAN-128 読取り設定

設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	















キャラクタ	メニューバーコード
Alt + A	
Alt + B	
Alt + C	
Alt + D	
Alt + E	
Alt + F	
Alt + G	
Alt + H	
Alt + I	
Alt + J	
Alt + K	
Alt + L	
Alt + M	
Alt + N	
Alt + O	

設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
Alt + P	
Alt + Q	
Alt + R	
Alt + S	
Alt + T	
Alt + U	
Alt + V	
Alt + W	
Alt + X	
Alt + Y	
Alt + Z	
Alt + [
Alt + ¥	
Alt +]	
Alt + ^	

















第 5 章 EAN-128 読取り設定

















設定 / 終了	
設定桁数 0桁 2回、1桁 1回、 2桁 下のコードを2回	
キャラクタ	メニューバーコード
Alt + _	

5-6 出力形式 1 設定用コード

















設定 / 終了		
AI	フィールド セパレータ (FNC1)	メニューバーコード
00	×	
01	×	
02	×	
10		
11	×	
12	×	
13	×	
15	×	
17	×	
20	×	
21		
22		
23L 1	× (データフィールド長 = $2L+1$ 例. 231 なら $2 \times 1 + 1 = 3$)	

















第 5 章 EAN-128 読取り設定

設定 / 終了		
AI	フィールド セパレータ (FNC1)	メニューバーコード
240		
241		
250		
251		
30		
310D 2	×	
311D 2	×	
312D 2	×	
313D 2	×	
314D 2	×	
315D 2	×	
316D 2	×	
320D 2	×	
321D 2	×	
322D 2	×	

















設定 / 終了		
AI	フィールド セパレータ (FNC1)	メニューバーコード
323D 2	×	
324D 2	×	
325D 2	×	
326D 2	×	
327D 2	×	
328D 2	×	
329D 2	×	
330D 2	×	
331D 2	×	
332D 2	×	
333D 2	×	
334D 2	×	
335D 2	×	
336D 2	×	
337D 2	×	

















第 5 章 EAN-128 読取り設定

設定 / 終了		
AI	フィールド セパレータ (FNC1)	メニューバーコード
340D 2	×	
341D 2	×	
342D 2	×	
343D 2	×	
344D 2	×	
345D 2	×	
346D 2	×	
347D 2	×	
348D 2	×	
349D 2	×	
350D 2	×	
351D 2	×	
352D 2	×	
353D 2	×	
354D 2	×	

設定 / 終了		
AI	フィールド セパレータ (FNC1)	メニューバーコード
355D 2	×	
356D 2	×	
357D 2	×	
360D 2	×	
361D 2	×	
362D 2	×	
363D 2	×	
364D 2	×	
365D 2	×	
366D 2	×	
367D 2	×	
368D 2	×	
369D 2	×	
37		
390D 2		

第 5 章 EAN-128 読取り設定

設定 / 終了		
AI	フィールド セパレータ (FNC1)	メニューバーコード
391D 2		
392D 2		
393D 2		
400		
401		
402		
403		
410	×	
411	×	
412	×	
413	×	
414	×	
415	×	
420		
421		

設定 / 終了		
AI	フィールド セパレータ (FNC1)	メニューバーコード
422		
8001		
8002		
8003		
8004		
8005		
8006		
8007		
8018		
8020		
8100		
8101		
8102		
90		
91		

第 5 章 EAN-128 読取り設定

設定 / 終了		
AI	フィールド セパレータ (FNC1)	メニューバーコード
92		
93		
94		
95		
96		
97		
98		
99		
1 この L はレングスを表しています		
2 この D は小数点位置を表しています		

5-7 EAN-128 サンプルバーコード

EAN-128



(8101)5177774444(8100)530003



(01)14912345678955(17)020100(30)314(10)123456789077



(01)34912345678905(17)010314(30)100(10)12345A



第6章 付録

付録1 サンプルバーコード

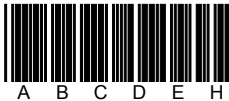
NW-7



CODE39



CODE39 (C/D 付き)



JAN13



JAN8



UPC-E



インターリブド2of5



インターリブド2of5 (C/D 付き)



CODE128






EAN-128は第5章をご覧ください。




付録2 連続読取りモードの設定

- 連続読取りモードは、バーコードを読取ってもレーザーが消灯せずに、連続してバーコード読取り状態になります。ただし、1度バーコードからレーザーを離さないで2度読みしません。
- 読取り後、レーザーをバーコードから離して再び読取り可能になる時間は「2度読み防止タイマー時間の設定」で行います（付録表2-3）。
- 初期設定を行うと、「連続読取り」は解除されます。

付録表 2-1

連続読取りモードの設定を行います 印は初期設定	
設定開始	
連続読取りにする	
設定終了	

付録表 2-2

連続読取りモードの設定を解除します 印は初期設定	
設定開始	
連続読取りを解除する	
設定終了	

付録表 2-3




2度読み防止タイマー時間の設定をします 印は初期設定	
設定開始	
0秒	
0.05秒	
0.1秒	
0.2秒	
0.3秒	
0.4秒	
0.5秒	
0.6秒	
設定終了	

付録3 レーザー照射方法の設定




レーザー照射方式の設定を行います。レーザー照射方式には「シングルスキャンモード」と「ラスタスキャンモード」があり、以下のような違いがあります。

- シングルスキャンモード
印字品質の悪いバーコードを読ませた場合、読み取りに時間がかかる事があるが、誤読しにくい。
- ラスタスキャンモード
印字品質の悪いバーコードを読ませた場合、読み取り時間は早いですが誤読する可能性は増える。

付録表 3-1

シングルスキャンモードの設定を行います 印は初期設定	
設定開始	
シングルスキャンモード	
設定終了	

付録表 3-2

ラスタスキャンモードの設定を行います 印は初期設定	
設定開始	
ラスタスキャンモード	
設定終了	

付録4 定期刊行物コード（雑誌）の読取り

本項では、定期刊行物コード（雑誌）に関する設定について説明します。





定期刊行物コード（雑誌）とは

雑誌用バーコードのコード体系が、2004年6月より従来の「共通雑誌コード」から「定期刊行物コード（雑誌）」へ変更されました。この定期刊行物コードは、先頭3桁が「491」固定の13桁 JAN コードと5桁のアドオンコードで構成されます。

付録4-1 定期刊行物コードの読取り設定

- 定期刊行物コード読取り可
「491」で始まる JAN-13は5桁のアドオンコード付きのみを読取ります。
- 定期刊行物コード読取り禁止
「491」で始まる JAN-13は5桁のアドオンコード付きでもアドオンコード無しとして読取り、JAN-13として出力します。

付録表 4-1

定期刊行物コードの読取りを設定します 印は初期設定	
設定開始	
定期刊行物コード読取り可	
定期刊行物コード読取り禁止	
設定終了	

付録 4-2 定期刊行物コードの C/D (チェックデジット) 転送設定

定期刊行物コードの C/D 転送の設定は「3-2-1-4 C/D (チェックデジット) 転送の設定」の「JAN/EAN」にて設定を行います。

付録 4-3 定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックス付加の設定

定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックスの付加について設定します。設定方法については「3-2-1-6 プリフィックスの付加の設定」および「3-2-1-7 サフィックスの付加の設定」と同様です。

付録表4-2の「定期刊行物コードのプリフィックス」、「定期刊行物コードのサフィックス」のバーコードをコード指定に使用して設定を行ってください。

付録表 4-2

定期刊行物コードのプリフィックス/サフィックスを設定します 印は初期設定	
設定開始	
定期刊行物コードの プリフィックス	
定期刊行物コードの サフィックス	
設定終了	

この設定は定期刊行物コード読取り時に有効となります。

定期刊行物コード読取り禁止により JAN-13として扱われた場合は「3-2-1-6 プリフィックスの付加の設定」および「3-2-1-7 サフィックスの付加の設定」で「JAN/EAN-13」に設定した内容が付加されます。

第7章 索引

第7章 索引

C	
C/D	3-2
CAPS	3-26
H	
HOST	1-4
K	
KEY	1-4
S	
SCAN	1-4
Stream1-DSV	2-2
あ	
英数字コード	3-32
オルタネートスイッチモード	3-21
か	
キーボードステータス	3-30
基本動作	2-9
桁数転送	3-8
さ	
サフィックス	3-16, 3-32
終端コード	3-27
スタート/ストップ	3-2
接続	2-2

接続時の注意	2-2
送信速度	3-29

た

多段読み	3-23
チェックデジット	3-2
通信設定	3-3, 3-26
デスクトップタイプ	2-5
添付品	1-2
トリガースイッチ	1-3
トリガーマード	3-20

な

ノートブックタイプ	2-6
-----------------	-----

は

表示 LED	1-3
ブザー音量	3-24
プリフィックス	3-16, 3-32
本体ケーブル	1-3

や

読取り口	1-3
読取り桁数	3-18
読取りコード	3-2, 3-6
読取り時間	3-22
読取り設定	3-3, 3-18
読取り方式	3-19

FAXによるご質問または修理のご依頼の際は、下記用紙をコピーして各項目にご記入の上ご利用ください。

FAX お問い合わせ表 / 修理依頼票 (どちらでご使用か に記してください)

御社名	_____	部署	_____
御氏名	_____	TEL	_____ () _____
E-Mail	_____	FAX	_____ () _____
御住所	〒 _____		
お買い上げ店名	_____		

【製品名】 キーボード インラインパッド リーダー

【型番】 Stream1-DSV

【SER No】 _____ (本体に貼付の銘板に記載されています)

情報提供にご協力ください

ご使用の PC	
ご使用の OS およびバージョン	
ご使用の業務 / 場所 / 環境	

質問内容・不具合症状の記入欄 (できるだけ詳しくご記入ください)

修理の際は本紙にご記入のうえ修理品と一緒に買い上げ店にお渡しください。
保証書のお買い上げ日から1ヶ年(ただし、最長で出荷日より1年3ヶ月)以内の場合、保証書のご提示により無償保証とさせていただきます。ただし、無償保証期間内であっても有償となる場合もございますので、詳しくは保証書をご覧ください。
弊社製品の保守期間は、販売終了後5年間です。ご使用中の製品の販売終了に関する情報は、弊社ホームページ (<http://www.welcat.co.jp/>)にてご確認ください。

このマニュアルの著作権は株式会社ウェルキャットにあります。
このマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製、転載することをお断りします。

キーボードインライン バーコードリーダー レーザータイプ
Stream1-DSV
ユーザーズマニュアル

2004年 10月 第10版 発行

株式会社ウェルキャット

本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-17-12 IWATA ビル

TEL : 045-474-9800 FAX : 045-474-9815

大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-7-19 第7新大阪ビル

TEL : 06-6307-0502 FAX : 06-6307-0504

Homepage <http://www.welcat.co.jp/>

E-mail info@welcat.co.jp

Copyright©1999 Welcat Inc.

落丁、乱丁はお取り替え致します。

M10STREAM1DSV

株式
会社 **ウェルキャット**

本 社 横浜市港北区新横浜 1-17-12 IWATA ビル
〒222-0033 TEL : 045(474)9800 FAX : 045(474)9815

大阪営業所 大阪市淀川区西中島 5-7-19 第7新大阪ビル
〒532-0011 TEL : 06(6307)0502 FAX : 06(6307)0504